

(平成20年度実施事業)

事業評価表

事業CD. 0106202 - 01030

京 都 府 南 丹 市

作成日: 平成21年05月15日

事業名	林業振興事業	事業運営方法	<input type="checkbox"/> 直 営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助等	所管部署名等
細事業名	林業振興事業	委託先	<input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 外郭団体 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 教育機関 <input type="checkbox"/> 自治会・地縁団体 <input type="checkbox"/> その他 ()	農 林 商 工 部 農 林 整 備 課 担当: 谷 裕 之
事業区分	事業分類: (B)ソフト事業 政策体系CD: 211 <input type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 時限事業 (平成 年度迄)			

【事業の概要】

- ①施策で目指す目標との関連付け
- 平成11年度からの継続事業で大学生等のボランティアによる里山整備や学校等の遊具製作に携わっている「美山木匠塾」にスギ角材等の原材料を支給する。
 - 青少年の健全育成のために、地域のボランティア活動等に取り組みされている団体及び、林業経営体の強化
 - 地域産材の品質向上を図る目的で活動をされている団体への活動助成をする。
- ②事業を実施する必要性
- 木の実用的な良さを見直し、森林の大切さや環境問題を学び、地元産の木材を使用して地域の林業振興にもつなげようとするものである。
 - 青少年の健全育成、地域産材の良質材生産を図るためには必要な事業である。
- ③未実施事項
- 計画どおり実行できた。
- ④他にも効果が見込める施策があるか
- 第2章1 豊かな緑と清流を守る
環境保全の行動支援として「京都モデルフォレスト運動推進事業」により、地域内外の住民に幅広くPRできる。

【事業費の推移】

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21予算	平22計画
決算額または計画額	千円	419	420	403	294	294
うち一般職、嘱託職、臨時職 給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0
財 源 内 訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0
	地 方 債	千円	0	0	0	0
一 般 財 源	千円	419	420	403	294	294
職員等従事人員	人/年	—	—	0.05		
人 件 費	千円	—	—	357		
事業費総額	千円	—	—	760		

【主な支出の内訳】

美山木匠塾へのスギ角材支給 291千円 (原材料費)
緑の少年団等への活動助成 112千円 (補助金)

【近隣市町村の取り組み状況】

把握していない。

【前年度の評価を受けて改善した点等】

前年度評価なし

【所属長総括評価】

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
次世代を担う青少年の健全育成のために何が必要か。
- ②当該事業のアピール事項
森林を身近に感じてもらうために、木の実用的な良さ及び地域産材の利用促進を図る。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
引き続き事業を実施し、森林荒廃の防止を図っていく。

事業活動記録

平成20年度実施事業

政策体系CD	211	事業名	林業振興事業		
事業CD	106202-01030	細事業名	林業振興事業		
所管部局	農林商工部	所管課	農林整備課	担当	谷 裕之

106202-01030

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
美山木匠塾	平成11年度からの継続事業で大学生等によるボランティア活動に対しすぎの角材等の原材料を提供する。 ・府立大学の学生 深見地区の大径木育成林(植林地)の看板 ・関西大の学生 宮脇地区の広場用に六人掛けの椅子とテーブル ・修成建設専門学校の学生 宮島小と平屋小の木製ジャングルジムの補修	H20.8	木の実用的な良さ、森林の大切さを学び、地域産材の木材を使用することにより林業振興にも一役を買う。
緑の少年団	青少年の健全育成のために、地域のボランティア活動(大野ダム記念公園のゴミ拾い等)等に取り組まれた団体への、活動補助金を交付する。	H21.3	野外活動を主として、緑に親しむことにより次世代を担う子供たちに森林を身近に感じてもらい、将来の森林荒廃の防止に寄与する。